

令和8年度調査結果 ヒノキ球果口針鞘数

調査時期:2026年7月5半旬

調査地点		採取日	ヒノキ球果		カメムシ類 離脱予測時期
			口針鞘数 (本/果)	口針鞘が認められた 球果の割合(%)	
朝倉	筑前町夜須吹田①	7月22日	7.1	100	8月19日
	朝倉市朝倉宮野	7月22日	6.9	100	8月20日
	朝倉市杷木志波②	7月22日	13.5	100	7月28日
	平均		9.1	100	8月12日
久留米	久留米市田主丸森部	7月23日	18.2	100	7月15日
	うきは市吉井福益①	7月23日	2.6	70	9月5日
	うきは市浮羽小塩	7月23日	8.8	100	8月14日
	平均		9.8	90	8月10日
筑後	八女市黒木今②	7月17日	11.7	100	7月29日
	八女市立花飛形山②	7月17日	8.8	100	8月8日
	みやま市山川立山	7月24日	6.5	95	8月23日
	平均		9.0	98	8月10日
福岡・北九州・筑豊	糸島市本	7月22日	13.0	60	7月30日
	宗像市山田	7月17日	4.7	95	8月23日
	遠賀町上別府	7月17日	1.9	75	9月2日
	飯塚市筑穂山口	7月23日	8.7	100	8月14日
	みやこ町勝山大久保①	7月21日	2.2	85	9月4日
	平均		6.1	83	8月20日
2026年 平均			8.2	91	8月14日
平均	2025年		0.6	20	9月3半旬
	2024年		4.6	81	8月5半旬
	2023年		0.5	17	9月3半旬
	2022年		2.2	55	9月1半旬
	2021年		1.4	49	9月5半旬
	2020年		0.8	39	9月2半旬
	2019年		1.5	50	9月2半旬
	2018年		7.3	92	8月4半旬

注1) 口針鞘数は1地点当たり20球果調査

注2) 新世代成虫のヒノキからの離脱時期は、1果当たりの口針鞘数が25本に達する時

* 予測式: $Y=54.17-3.776x+0.01937x^2$

(Y: 球果採集日から離脱までの日数、x: 口針鞘数<7月5半旬調査結果のみ適用>)